

高崎経済大学経済学会

令和5年度 学生懸賞論文募集要項

1. 趣旨

高崎経済大学経済学会は、経済学部にも所属する教員、学生等を主な正会員とし、学術研究ならびにその発表を通じて社会に寄与することを目的に組織・運営されています。このたび、経済学部にも所属する学生、経済・経営研究科大学院生（博士前期課程）の研究活動を奨励するため、学生懸賞論文の募集を行います。応募資格等は下記の通りです。経済・経営・国際分野に限らず、文学や政治・哲学などの幅広い視野からの論文を歓迎します。

2. 応募資格

- ・ 高崎経済大学経済学部にも所属する学生、経済・経営研究科大学院生（博士前期課程）で本学会の学生会員を対象とする。
- ・ 上記以外の研究生等は対象としない。
- ・ グループによる応募も可。

3. テーマ

各自で自由に論題を設定し、論述してください。

4. 応募期間

2023年10月1日（日）～11月30日（木）とする（締切日16時まで厳守）。

5. 応募方法

投稿規程内の執筆要領をもとに論文を作成し、下記3点を指定された提出期限までに、経済学会メールアドレス（k-gakkai@tcue.ac.jp）宛に送付してください。

<提出書類>

- ① 論文本体（WordファイルまたはPDFファイル）
- ② 論文要旨（A4判用紙400字以内、学会ホームページからダウンロード）
- ③ 学生懸賞論文応募用紙（学会ホームページからダウンロード）



6. 表彰および賞金

- | | |
|-----|------------|
| 金賞 | ： 賞状、副賞5万円 |
| 銀賞 | ： 賞状、副賞3万円 |
| 佳作 | ： 賞状、副賞1万円 |
| 奨励賞 | ： 賞状、副賞3千円 |

7. 論文の審査および審査基準

（論文の審査）

- ・ 応募論文は、本学会正会員である専任教員が厳正に審査します。
- ・ 一定の水準に達する論文がない場合は、該当なしとなる場合があります。

(論文の審査基準)

- ・ 執筆要領の遵守：指定された分量・条件を遵守しているか、参考文献・注等は適切な方法で表記されているか

※ 執筆要領を遵守していない論文は、審査の対象外となる場合があります。

- ・ 論文の構成と論理展開：論旨一貫性、先行研究のレビュー、独自性、発展可能性が十分にあり、正確な文章表現のもとで執筆されているか
- ・ 統計・調査データの取り扱い：論旨展開上、適切に選択され効果的に活用されているか、文献の出所の記載はあるか、自作のグラフ・表の場合の目盛り・単位の取り方は正しいか

8. 入選者の発表および表彰

- ・ 入選者については、2024年3月までに本人へ直接通知するとともに、学会ホームページで公表します。
- ・ 受賞論文のうち優秀な論文については、論文要旨を学会発行の機関誌『高崎経済大学論集』に掲載します。

9. その他

- ・ 応募書類は返却しません。
- ・ 応募論文は個人・グループあたり1編とします。
- ・ 応募論文は卒業論文および他へ投稿中(予定)の論文と重複しても構いません。
- ・ なお、応募論文が何らかの媒体に掲載された場合、応募者は速やかに学会事務局まで報告してください。この場合『高崎経済大学論集』への要旨の掲載はしません。
- ・ 応募論文は、原則として提出前にゼミ担当教員の承認を受けた上で提出してください。
- ・ ゼミ所属前の学生は執筆要領にしたがい、論文としての体裁を整えた上で提出してください。

以上

ひょうせつ 剽窃や生成系 AI (ChatGPT 等) による論文作成について

剽窃(他人の文章などの字句または説を、ことわりもなく盗んで自分のものとして発表すること)は許されない行為であり、学生の本分に著しく反する行為です。インターネット情報や書籍だけでなく、ゼミ等で共有されている研究成果等も、出典を明示しないなど不適切な形で、自らの論文に記載して提出した場合は剽窃とみなされる可能性があります。剽窃が発覚した場合、提出された論文は直ちに失格となり、受賞後でも遡及して受賞を取り消します。

なお、生成系 AI (ChatGPT 等) による論文作成についても同様の対応をとります。